



坂本明香里 ちゃん
「9月で2歳。
食べることが大好き」
(上吉田)



清水 陽斗 くん
「ビスケットより
醤油せんべい派です」
(桜木町)



浅見 さら ちゃん
「木登り大好き！」
(荒川白久)



木本 大貴 くん
「甘えん坊の
やんちゃ坊主です」
(小柱)



応募方法

1～1歳半程度のお子さんの写真を同封し（メールの場合は、500KB以上の画像を添付）、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前（ふりがな）・性別・生年月日を明記の上、秘書広報課（✉hisyo@city.chichibu.lg.jp）までご応募ください。（件名に必ず「わが家のアイドル」と入力のこと）抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

弓道部 全国大会団体出場

(秩父農工科学高校)



6月28日(日)に埼玉県立武道館で行われた紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選会女子団体の部において、強矢栞さん（食品化学科3年）、大野友美佳さん（ライフデザイン科3年）、森尻成実さん（フードデザイン科3年）、小池彩香さん（ライフデザイン科3年）のチームが第3位になり、埼玉県代表として全国大会出場が決定しました。全国大会は、8月22日(土)、8月23日(日)に福岡県久留米市で行われます。

3年生最後の大会でこれまでの努力が実を結び、埼玉県代表になれたことを誇りに、全国大会でも精一杯頑張ることを期待しています。



秩父農工科学高校では、部活動を人間性や社会性を身につける最も重要なものに位置づけています。生徒たちは、それぞれ目標を定め、それに向かって伸び伸びと、そして生き生きと取り組んでいます。

市民文芸

俳句

竹内 弥太郎 選

若者らのバイク早苗田走り去る
父の日や豆腐五銭の覚え書き
正座して玉音聞きし終戦日
剥製の嘴赤く夏に入
掴まえし蝶を放ちて子の帰る
離れ住む娘が来て梅雨を晴らしけり
夏蝶や降りてみようかこの駅で
姿見を磨いてから更衣
カレンダーの月が変りて菖蒲咲く
夏山の燦燦とゆれ法螺響く

上吉田 山口 富江
中町 内田 定男
永田町 栗原 昌次
近戸町 須田 真弓
吉田久長 齋藤 大仙
久那 福島 紫仙
下影森 山口千代子
黒谷 中村 美代
日野田町 赤岩 尚子
三峰 山中 資治

（評）爆音を立てて早苗田を走り去る、富江さんの描く現代青年に対して、定男さんと昌次さんは昭和の青年を表白していて、時代相を感じさせます。真弓さんは、剥製の赤い嘴に夏を象徴しています。つかまえた蝶を逃がし、虫の命を見つめる子どもを見ている大仙さん、娘が来て梅雨空を晴らしてくれたと喜ぶ紫仙さん、両者とも愛の眼差が注がれています。千代子さんの夏蝶への想いと夢、美代さんや尚子さんの心配りも胸にひびきます。嶺々に響く法螺貝の音に、夏山の揺れを覚える資治さんの感覚も、人の心を捉えます。

※次回9月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 8月末締切→10月号に掲載

短歌 9月末締切→11月号に掲載